

履 歴 書

1. 「氏名」については、旧姓等の通称名を使用している場合、()書きで本名を併記してください。
2. 「生年月日(年齢)」の欄の年齢には、作成日時点での年齢を記入してください。(西暦、半角数字)
3. 「国籍」の欄には、当該教員が外国籍である場合にのみ国名を記入してください。
4. 「月額基本給(千円)」の欄は、空欄にしてください。

5. 「学歴」の欄について

- ① 高等学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合、すべての学歴(授与された学位及び称号を含む。)を記入して下さい。

なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。

- ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。

学位における専攻分野の名称の表し方

例1) 「〇学修士」、「〇学博士」

例2) 「学士(専攻分野)」、「修士(専攻分野)」、「博士(専攻分野)」

※学位の名称は異なりますので、必ずご自身の授与された学位記を確認し、学位記通りに記入をして下さい。

- ③ 医師、理学療法士、柔道整復師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、取得年月、登録番号も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
- ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

6. 「職歴」の欄について

- ① すべての職歴(自営業、主婦、無職等を含む。)を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。大学において専任教員である場合の職名は、教授、准教授、講師、助教、助手のいずれかを記入し、非常勤講師の場合は「非常勤講師」と記入して下さい。

空白期間が無いよう記載してください。

- ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
- ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ④ 過去における文部科学省の教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称(大学院にあつては、判定結果を含む。)を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。
- ⑤ 大学教員等の職歴については、担当授業科目を併記してください。

7. 「学会及び社会における活動等」の欄について

- ① 「現在所属している学会」には、記入時において所属する学会の名称を記入してください。
- ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

8. 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰、刑事罰、懲戒処分歴、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。特記事項がない場合は「特記事項なし」と記入してください。後日、処分歴等が発覚した場合は、雇用契約解除となることもあります。

9. 「職務の状況」の欄について

- ① 「現在の職務の状況」の欄には、今年度における職務の状況について記入し、「来年度の職務の状況」の欄は、空欄で結構です。
- ② 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「－」を記入してください。
- ③ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。
- ④ 常勤、非常勤を問わず、定期的に従事する職についてはすべて記入してください。
- ⑤ 他大学等の兼任教員の場合は、「勤務先」に大学名、「職名」に非常勤講師、客員教授など、「学部等又は所属部局の名称」に学部学科名（全学共通の場合などは適宜わかるような表記）、「勤務状況」は週あたりの勤務日数を記入してください。
- ⑥ 大学以外の業務の場合は、従事する職に応じて実態がわかるように適宜記入してください。
- ⑦ 「名誉職」のような場合で、定期的な勤務のない場合は記入不要です。
- ⑧ ⑦の場合を除き、勤務実態のある業務については記入漏れの無いように注意してください。
- ⑨ 記載内容は以下の例を参照し、実態が明確になるように記載してください。

| 〔例〕〔勤務先〕 | 〔職名〕 | 〔所属部局の名称〕 | 〔勤務状況〕 |
|----------|-------|-----------|----------|
| 〇〇〇〇大学 | 教授 | 〇〇学部〇〇学科 | 〇〇学、〇〇概論 |
| 〇〇〇〇病院 | 常勤看護師 | 〇〇〇〇科 | 〇〇〇〇担当 |
| △△専門学校 | 非常勤講師 | 〇〇科 | 1日／週 |
| 株式会社〇〇 | 取締役 | － | 1日／月 |
| 〇〇〇〇協会 | 理事 | － | 2日／週 |
| 一般社団法人◇◇ | 理事 | － | 1日／週 |

教 員 個 人 調 書

| 履 歴 書 | | | | | |
|---------------------------|---|--------------|--------------|-----------------------------------|----------------------|
| フリガナ | フリガナ | 性別 | 男 | 生年月日 (年齢) | 〇〇〇〇年 5 月 1 日 (満〇〇歳) |
| 氏 名 | 〇〇 〇〇 | | | | |
| 国 籍 | | 千円 | 現住所 | 〒111-1111 〇〇県〇〇市〇〇区 1 丁目 1 番〇〇 | |
| 月額基本給 | | | | | |
| 学 歴 | | | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 〇〇〇〇年 3 月 | 〇〇高等学校 卒業 | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇リハビリテーション専門学校 入学 | | | | |
| 〇〇〇〇年 3 月 | 〇〇リハビリテーション専門学校 卒業 | | | | |
| 〇〇〇〇年 5 月 | 理学療法士免許 (登録番号〇〇〇〇号) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学 | | | | |
| 〇〇〇〇年 3 月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業 「学士(〇学)」取得 (論文題目: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇修士課程 入学 | | | | |
| 〇〇〇〇年 3 月 | 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇修士課程 修了「修士(〇学)」取得 (論文題目: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇) | | | | |
| 職 歴 | | | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇病院〇〇〇科 常勤理学療法士 (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇病院〇〇〇科 非常勤理学療法士 (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 助手 (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | △△大学△△学部△△学科 助教 (〇〇〇学、〇〇〇概論) (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | △△大学△△学部△△学科 講師 (〇〇演習、〇〇〇〇論) (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 准教授 (〇〇概論、〇〇実習) (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇〇〇専門学校〇〇科 非常勤講師 (〇〇学、〇〇概論) (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 教授 (〇〇概論、〇〇実習) (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 〇〇〇〇年 8 月 | 大学設置・学校法人審議会教員組織審査 ××大学××学部××学科 教授 (〇〇〇〇学、〇〇〇〇概論) 合判定 | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | ××大学××学部××学科 教授 (〇〇〇〇学、〇〇〇〇概論) (現在に至る) | | | | |
| 学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等 | | | | | |
| 現在所属している学会 | | 日本〇〇学会 | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 日本〇〇学会 (現在に至る) | | | | |
| 〇〇〇〇年 4 月 | 〇〇〇〇協会会員 (〇〇〇〇年 3 月まで) | | | | |
| 賞 罰 | | | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 〇〇〇〇年 3 月 | 日本〇〇学会 ◇◇◇賞 受賞 | | | | |
| 現 在 の 職 務 の 状 況 | | | | | |
| 勤 務 先 | 職名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況 | | |
| ××大学 | 教授 | ××学部××学科 | 〇〇〇〇学、〇〇〇〇概論 | | |
| 来 年 度 の 職 務 の 状 況 | | | | | |
| 勤 務 先 | 職名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況 | | |
| | | | | | |
| 〇〇〇〇年 7 月 1 日 | | | | 上記のとおり相違ありません。 氏名 〇〇 〇〇 (印) | |

教育研究業績書

1. この書類は、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主要な著書、学術論文等の業績について作成してください。
2. 「氏名」については、旧姓等の通称名を使用している場合、()書きで本名を併記してください。
3. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について
「研究分野」の欄には、分科レベルの名称(研究分野・細目表)を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目名を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。
4. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について
 - ① 「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
 - ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
※日にちまで記入してください。(西暦、半角数字)
 - ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
 - ④ 「教育上の能力に関する事項」の例
 - ア 「1 教育方法の実践例」について
大学・短期大学・大学院・専門学校などにおいて授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、工夫を凝らしたわかりやすい授業を実施している場合、その内容を記載してください。
 - ICT等を活用した授業方法
 - 学生の授業外における学習効果促進のための取組み
 - 授業内容のWEB上での公開 など
 - イ 「2 作成した教科書、教材」の例
学生の理解を図るために作成し、また、授業や研修指導等において活用している教科書や教材を記載してください。当該欄には大学等の実際の授業や指導等で使用するものを記載し、小・中・高等学校で使用する教科書については、「研究業績等に関する事項」欄に記載してください。なお、本欄に記載した事項が、「研究業績等に関する事項」において重複して記載される場合は、同一の内容を当該箇所においても記載し、(再掲)と記載してください。
 - ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
学生の理解を図るために行っている教育上の取組み(授業などを通じた取組み)に対して、大学から特に高い評価を受けた場合に記載してください。
 - 採用決定の際等における評価内容
 - 各大学における自己点検・評価での評価結果
 - 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果

エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

現場における教育に関する取り組みや外部と連携することによって成果を上げた教育に関する取り組みをについて記載してください。

- 大学から受け入れた実習生等に対する指導
- 理学療法士会等の職能団体の依頼による研修指導等
- 訴訟・審判・監査・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

オ 「5 その他」

学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上記に該当しないものを記載してください。

- 大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- 教育実績に関する表彰
- 国家試験問題の作成 等

⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1 資格、免許」

- 医師、理学療法士、柔道整復師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの。概要項目に、登録番号を記載してください。

イ 「2 特許等」

- 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- 大学との共同研究
- 訴訟・審判・監査・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員
- 行政機関における調査官等
- 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等

エ 「4 その他」

上記に該当しないものはこちらに記載してください。

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績 など

⑥ 資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。(コピーを添付)

5. 「研究業績等に関する事項」の欄について

① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

② 「著書、学術論文等の名称」の項について

ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(学会発表)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

イ 著書については、著書名を記入してください。

ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。

エ その他については、総説、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

オ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

③「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著(学会発表は単独)」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著(学会発表は共同)」と記入してください。

④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。(西暦、半角数字)

⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

ア 著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記して下さい。

ウ 学会発表等の場合には、学会・学術大会名、開催場所等を明記してください。

⑥「概要」の項について

ア 当該著書等の内容を200字程度で記入してください。

イ 当該著書等が共著又は共同の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

